

THE KOBEEKO NO.102
OCTOBER 1969

★郷土を愛する人々の雑誌★

神戸っ子

10



1968
RKO159

MIKIMOTO

まろやかな光沢をたたえた

ミキモトパール

その一粒一粒が

さわやかな初秋の装いを

一層美しくします

豊かな実りの季節にふさわしい

落ちついた輝きをそえる

ミキモトの装身具をお選び下さい。



 御木本真珠店

神戸店＝三ノ宮－神戸国際会館

Tel. 22-0062

大阪支店＝堂島－新大ビル

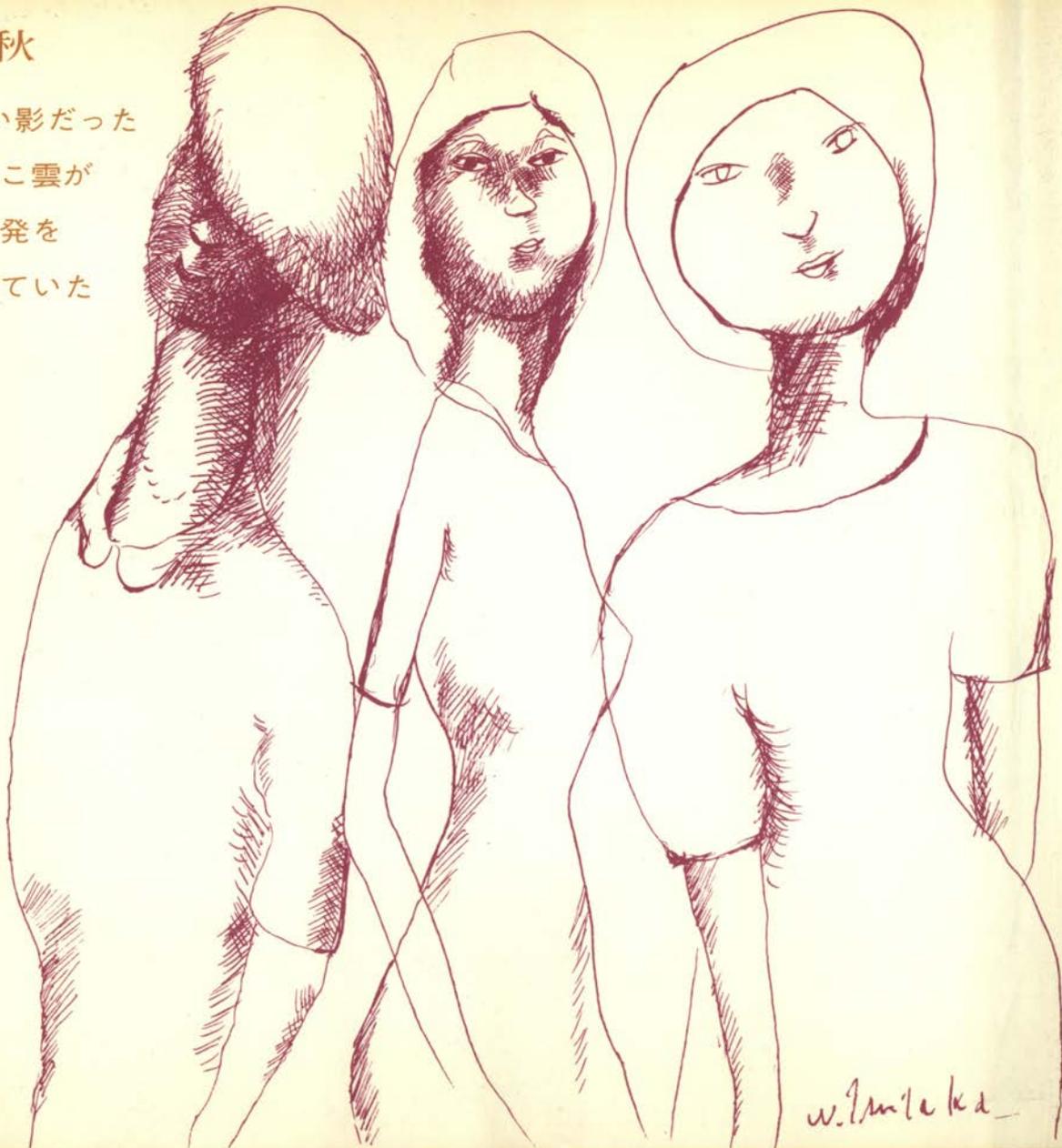
Tel. 363-0247

大阪＝阪神・阪急・高島屋・松坂屋

本店＝東京－銀座4丁目 Tel. 535-4611

秋

女は白い影だった
うろこ雲が
不発を
宿していた



絵+詩

津高一

w. In'aka

◆挙式料 ¥16,000 (控室など一切を含む)

◆披露宴 ¥3,000 (お一人様につき)

{フルコースディナー お飲物
飾花、タバコ、献立表 その他
(税金、サービス料別) ¥10,000



小鳥が祝う二人の門出

六甲オリエンタルホテル

◆特典：ご婚礼当日ご一泊
ご招待申し上げます

国立公園六甲 TEL (89) 0333

しあわせなお二人の
清らかで優雅な結婚式場
オリエンタルホテルチェーン

真心が二人をつつむ

神戸オリエンタルホテル

◆特典：ご結婚一周年記念日
お二人様を晚餐にご招待

神戸・京町 TEL (33) 8111

●神戸っ子'69

西川鯉蓉
〈邦舞家〉

カメラ・米田定蔵

簾が動くので秋の気配を感じる稽古場。すつきりと舞う扇面が、体の線に流れて涼やかだ。

西川鯉蓉。西川小扇面を経て、昭和三十六年西川鯉蓉を名取る。東京、名古屋へと苦しい稽古で青春時代をあけられるが、その粘り強さがお弟子さんに厳しく、また謙虚に接しているようだ。

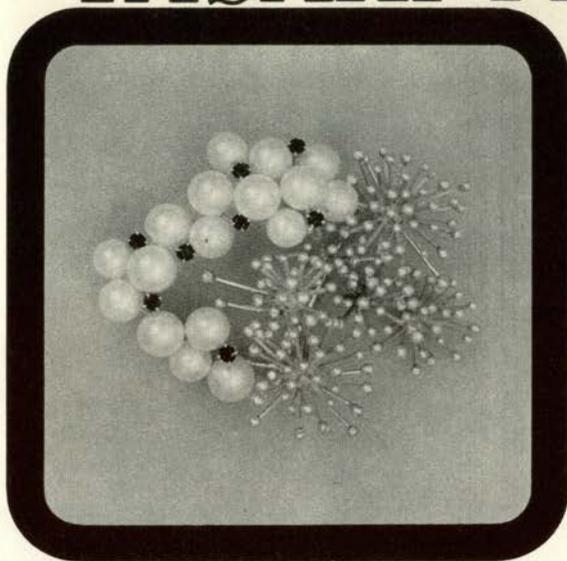
人柄のせいも、年輩の男性が黒田節を習いにくるそうだが、流行歌を教えてくれといわれると困りますワ、と時代の波に動じないものがある。

古典に磨きをかけたい、と抱負を述べる。青谷住い、青谷育ちの生粹の神戸っ子である。

〈写真左・青谷妙光院にて 写真下・自宅稽古場にて〉



TASAKI PEARLS



田 崎 真 珠

本 社・神戸市灘合区旗塚通6-9
三 宮 店・神戸新聞会館秀品店内
パールギャラリー・神戸市灘区六甲台町24
銀 座 店・東京都中央区銀座西6-5
ブ ラ ザ 店・大阪ホテルプラザ内
パールファーム・溜池電停前(ショールーム)
ヒ ル ト ン 店・東京ヒルトンホテル内
オ ー タ ニ 店・ホテル・ニューオータニ内
札 幌 店・札幌パークホテル内



●神戸っ子'69

和田悟朗

俳人・「渦」同人
奈良女子大理学部教授

カメラ・米田定蔵

全身で蛇死にゆくや尼寺冷え。花鳥風月を超えた冷酷
なりアリテイが鋭い言葉と共に展開される。

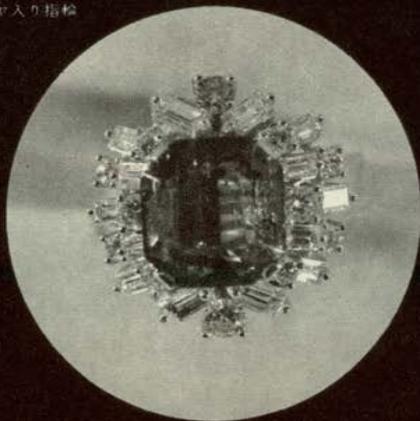
和田悟朗。現代俳句協会賞をうける。県下では和田氏
が属する「渦」の主宰者赤尾兜子氏に次いで二人目だ。

奈良女子大理学部教授、理学博士という経歴が、物を
観る自然科学者の眼をもって、現代社会のさまざまな素
材を实体经济に透徹するまでの厳しさで俳句の世界に迫まる
昭和二十七年より菟原逸郎氏により俳句の面白味を教わ
り本格的に句作を始める。言葉の革新的な使い方に興味
を持つと同時に、実作者の立場を離れず俳論にも力を入
れている。大正十二年生まれ。神戸一中卒。東灘区在住
（写真左・岡本梅ヶ谷にて 写真下・自宅書斎にて）





白金エメラルドダイヤ入り指輪



確信をもって

タジマの眼が選んだ

宝石の名品

宝飾店
Tajima
タジマ

元町2丁目・TEL ③ 0387・2552

タジマでは、宝石の鑑定を無料でご相談に
応じておりますので、お気軽にご利用ください



パンはギリシヤ神話の牧羊神。陽気な神で知恵者であり山野を葦笛を吹いてかけめぐる。いたずらを好み戯れる。

花隈公園に集った劇団テアトロ・パンの仲間たち。パンほどの形相はしてないまでも日常性にどっぷり浸る体質を持つていようだ。

芸術を純粹に創造しようとする心構えは、演劇人であるかぎり必須のものであり、そしてアマチュア劇団であるからこそ、団員個人の演劇に対する厳しさを要求する。

これが二十周年を迎えてもなお若い演劇人を魅きつけるテアトロ・パンの魅力であろう。同時にその伝統を意識さ



せる軸をかたちづくるものは神戸高校の卒業生が三分の二を占めるといふ劇団構成にも感じられる。

十月二六日、神戸国際会館で上演されるア・サー・ローレンツ作「旅情」を通して、真に演劇とは何かを観客に問いかけることであろう。それは大いに期待してもよいことなのだ。

写真右から

五宮芳美 岡部光子 正重公 山本美穂子(準団員) 武城真由(準団員) 小柴よう子 廣山新一 伴正也 小柳二郎 矢内原淳子 川瀬慎男 大島加代子 東みち子(準団員) 牧慎三(代表者)



かねこ

「こ×サロ」

●花嫁とパール

秋のおとずれ。
 静楚な花嫁の姿が美しい時
 真白のウエディングドレス
 に、貴品と初々しさをそえ
 るパールは、愛の日を飾る
 にふさわしいアクセサリ
 二人の幸せを結ぶパールリ
 ング。花嫁を飾るネックレ
 ス、イヤリングなど、デザ
 イン、品質ともに最高の「か
 ねこパール」をおすすめい
 たします。

おしゃれをリードする……

金子真珠

神戸=神戸市東灘区住吉町堂ノ本1824

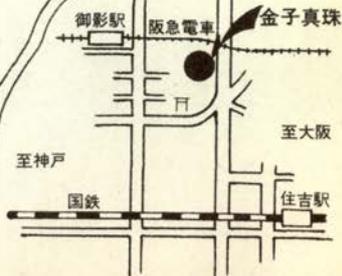
Tel. <81> 2881-3

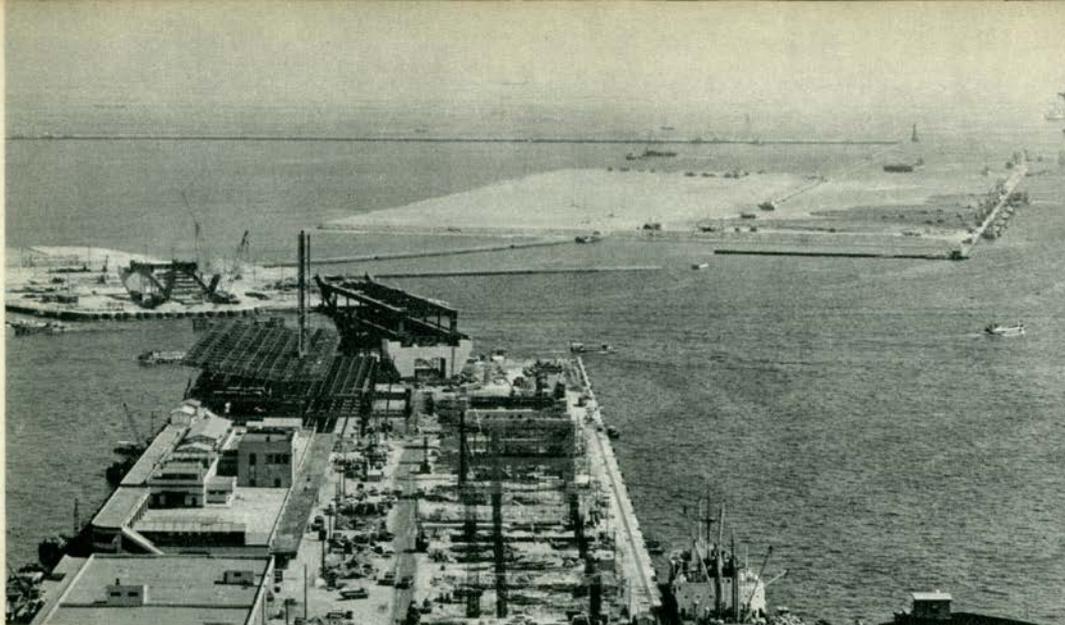
東京=東京都中央区銀座7丁目8-5 金城ビル

Tel. <573> 1775

長崎=長崎市大黒町14-5 長崎ビル

Tel. <22> 1537





神戸百店会

ポートアイランドを
踏む

写真上・神戸商工貿易センター26階より見た
ポートアイランド。手前は架橋工事
中の神戸大橋。

右・ポートアイランド上での神戸百店会
のメンバー

〈右から〉

村井(朝日麦酒) 芹沢利雄(セリザワ) 三戸伊之
介(ゴンチャロフ製菓) 鈴木宣次(ユーハイム)
末積良之介(末積製額) 山崎忠之(栄弥)
熊田雄二(三星堂薬局) 吉川進(風月堂) 永
田良一郎(永田良介商店)

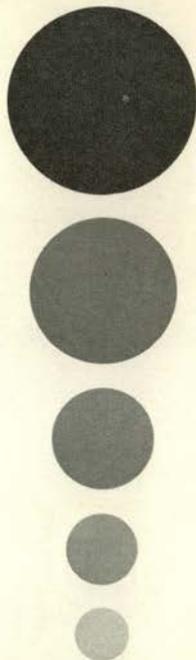


神戸のビジョンの大
きな軸となるポートア
イランドを見ずして、
神戸での流通を考える
ことができないと、八
月十三日の炎天下、神
戸百店会のメンバー九
人が、神戸市臨海開発
局の案内でポートアイ
ランドに上陸した。
メリケン波止場から
ランチに乗船すると、
発展する神戸港の様子
が一目でわかる。ブッ
シャーパージが土砂を
揚げており、防潮堤が
人工島の骨組みをつく
りつつある。
一三〇万坪と生田区
大の島だが、第四突堤
から架かる神戸大橋も
両方からドッキングし
て、来年三月からのコ
ンテナパースの使用
が待たれている。
神戸の発展を、直接
に肌で再認識させられ
た意義ある一日である



レザー・ファッションで

新しい感覚を！



村田*真珠/銀座山岡*毛皮/舶来婦人服飾



ムラチ

さんちか*レディスタウン・TEL 39-3886-7

有限会社・タイグレス

神戸店・神戸市生田区山本通り 4-97

村田真珠本社内TEL (078)23-1212-6

東京店・東京都中央区銀座 8-2

山岡毛皮店内TEL(03)572-0021-2



モデル/松本みや<K・F・G>



これは神戸を愛する人々の手帖です
 あなたのくらしに楽しい夢をおくる
 神戸を訪れる人々にはやさしい道しるべ
 これは神戸っ子の手帖です

神戸っ子10月号目次

表紙 / 小磯良平

Second Cover / 津高和一

神戸 C 69 / 撮影・米田定蔵

①西川鯉幸 / ②和田信朗

ある集い / 劇団「テアトロ・パン」

コウベ・スナップ / ポートアイランド見学

わたしの意見 / 吉川 進

随想三題 / 風・宮田恭子 俺とあいつ・松原成夫

サンテレビだけの話・神栄赴郷

ある集い・その足あと / 「テアトロ・パン」

れんさい随想(5)六甲哀愁・林田重五郎

随想 / 神戸に住みたい・大久保恒次

随想 / 小庭小事・白川渥

神戸っ子対談 / 小泉徳一・柏井健一

経済ホケットジャーナル

技術ジャーナル / 諸岡博雄

神戸のアーバンデザイン / 水谷頼介

神戸のモダンリビング / 高月昭子

世界のショッピング・センター① チームUR

世界の都市雑誌① チームUR

街のおしゃべり / 三宮サラーマン情報

神戸の集いから

CINEMA 43 真夜中のカーボーイ / 淀川長治

連載マンガ / かんづめをあげる④・岡田淳

動物園飼育日記① / 亀井一成

おしゃべりたいむ①

おしゃべりたいむ②

□特集 / 街のスベシヤリスト

福田忠次 / 麻生 勇 / 宮本忠之 / 東 正雄

〈猫〉〈クッピー〉〈野 鳥〉〈カタツムリ〉

オートバイ旅行記(最終回) / 大迫薫昭

元町タウン・ジャーナル(10月)

神戸遊戯誌79 / 野球(1)青木重雄

ムッシュ・ド・コウベ(8)P・A・カンパネラ / 竹田洋太郎

へんなページ(10)コンピュータ・セックス / 向井修二

神戸百貨会だより

ホケットジャーナル・花時計

連載物語第25回・非悪童物語 / 足立巻一

連載小説第2回「夏の別れ」 / 石浜みかる

海・船・港(9)バレンティナー・テレシコワ号

カメラ歳時記(10月) 名倉町のたそがれ / 緒方しげを

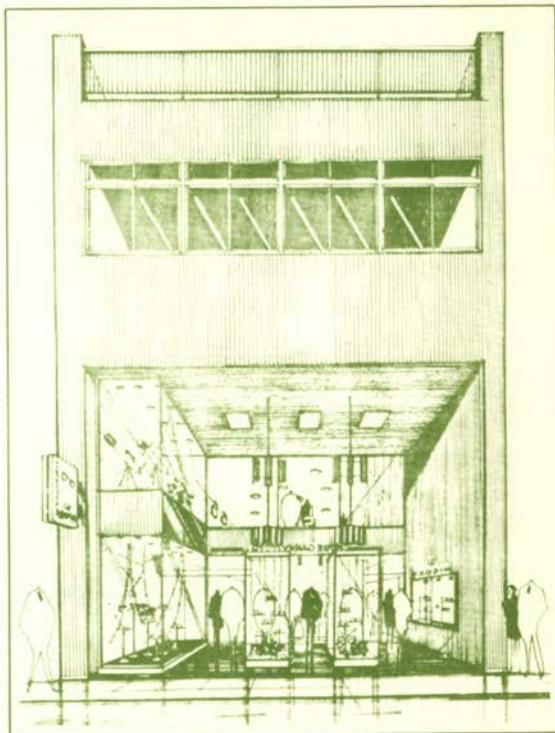
カメラ / 米田定蔵・カット / 岡田淳

10月上旬元町新装開店

神戸眼鏡院元町店が、今度装いも新たにクリエイティブな眼鏡店として開店致します。めがねの事なら自信を持ってお引き受け致しますので今後共よろしく御利用下さいませ。

 **神戸眼鏡院**

元町3丁目 代表 (32) 1212 月曜定休





吉川 進

〈風月堂社長〉

ポートアイランドを
都市計画の起点に

★昔日の感を抱かせる神戸港とポートアイランド

このたび、神戸百店会総会の行事として、着々と進行しているポートアイランドの現状視察が神戸市の担当者のご案内で、真夏の八月、炎天の太陽の下で行なわれた。昔懐しいメリケン波止場に集合して、永田良一郎君が眼前の海で少年時代を泳いで過ごした、と想い出を語れば、そういえば、五尺ぐらいの高さの鉄柵が船の溜り場と海岸線を区切って白砂と松があったが、東寄りの倉庫を臘石を手に入れるために、小学校時代、日の暮れるのも忘れたのも、すでに五十年前の想い出である。

ポートアイランドのPRは日頃よく行なわれてはいるが、實際足を踏み入れるのは今日が初めて。第四突堤とポートアイランドをつなぐ神戸大橋も両端から鋭く突き立って見え、来年四月には、この橋もコンテナパーパスに直通するとの説明をうけた。

人工島に立って北を眺めると、神戸市東端から西の鉢伏山が海に入るまでが、一枚の絵としてなかなか魅力的ではあるが、眼前にそびえ立つ神戸商工貿易センターの薄暗色が六甲の緑に沈んで浮き立ってこないのが残念だ。神戸港の中枢から生田区大の人工島ができあがるなんて、少し前の人には想像もつかない夢物語であったろう。★ポートアイランドを軸に神戸の都市計画を

しかし、現実には人工島がすでにある。この一步は小さいだろうが、ここから生まれる神戸の発展は果てしないものと思われる。このポートアイランドの土地利用については、現在関係者で検討中ではあるが、六大都市の中で神戸らしい海浜公園のような文化的経済的にもすばらしいアイデアが実ることを期待している。

戦後の神戸には都市計画の手を打つべくチャンスがあったのが、今この時期において二度目の機会が与えられた。しかし事情は当時と雲泥の差がある。今、神戸港千年の将来を考え、街の創造に全市民の知恵を結集し、幾世代もの人が、世界から注目される神戸の街に住むことをより好ましく思う街を、せびつくっていただきたい。



この夏の話題をさらったドレミファ噴水。すべての音楽や歌声にピッタリと合わせて数かぎりなく変化する画期的な噴水。このコンピュータ噴水の特色をフルに使ってバラエティにとんだ楽しい「ドレミファダンシングア」を開催。

*噴水ノズル1000本・水中カラー照明500灯・客席6000席

■ドレミファ噴水パレス開館10時20分→19時 入場料：大人2000円・小人1000円
 ■コース：ロープウェイ・カーレーター・観光リフトでお祭りにドレミファ噴水パレスへ

須磨浦公園駅下車 山陽電車

須磨浦山上遊苑の壮大な劇場の中で
 くりひろげる水と光と音楽の饗宴

須磨浦ドレミファ噴水パレス

完成記念特別ショー・日本歌劇団出演(全7景)

ドレミファダンシングア セブ

10月4日(土)・5日(日)と10日(祝)→19日(日)連日
 22日(水)・25日(土)・26日(日)公演

株式会社
 設立
 50周年

10月3日

大増築完成



生まれかわるそごう
 増築完成オープン



OSAKA 10月31日 10月3日 KOBE

ジャンボー
 〈そごう〉
 オープン!